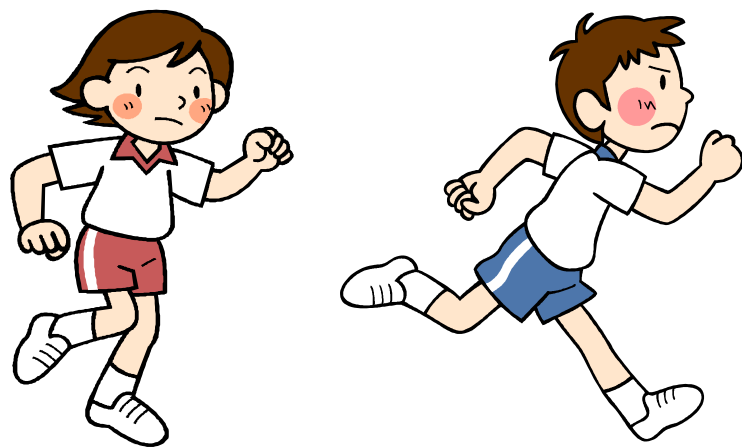


【解説①】

「児童生徒の体力等の現状について」



秋田県教育庁保健体育課
学校体育・部活動チーム

【内容】

- 1 本県児童生徒の体力・運動能力等の現状
- 2 さらなる指導の充実に向けて
- 3 まとめ

◇参考調査（令和7年度）

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査 （スポーツ庁）

- ・ 悉皆調査（小5、中2）



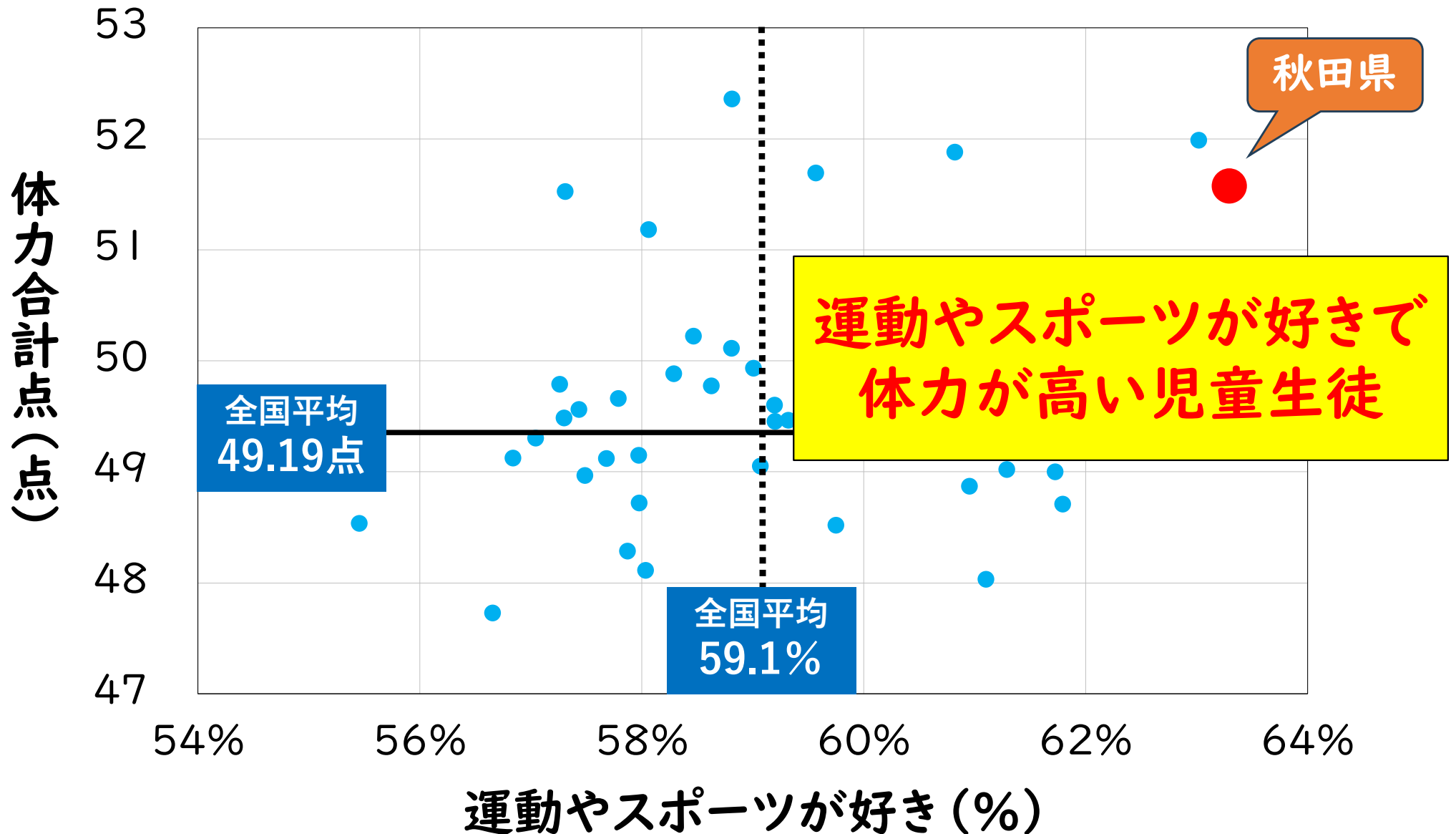
○県新体力テスト（県教育委員会）

- ・ 抽出調査（小・中学校、全日制高校全学年）

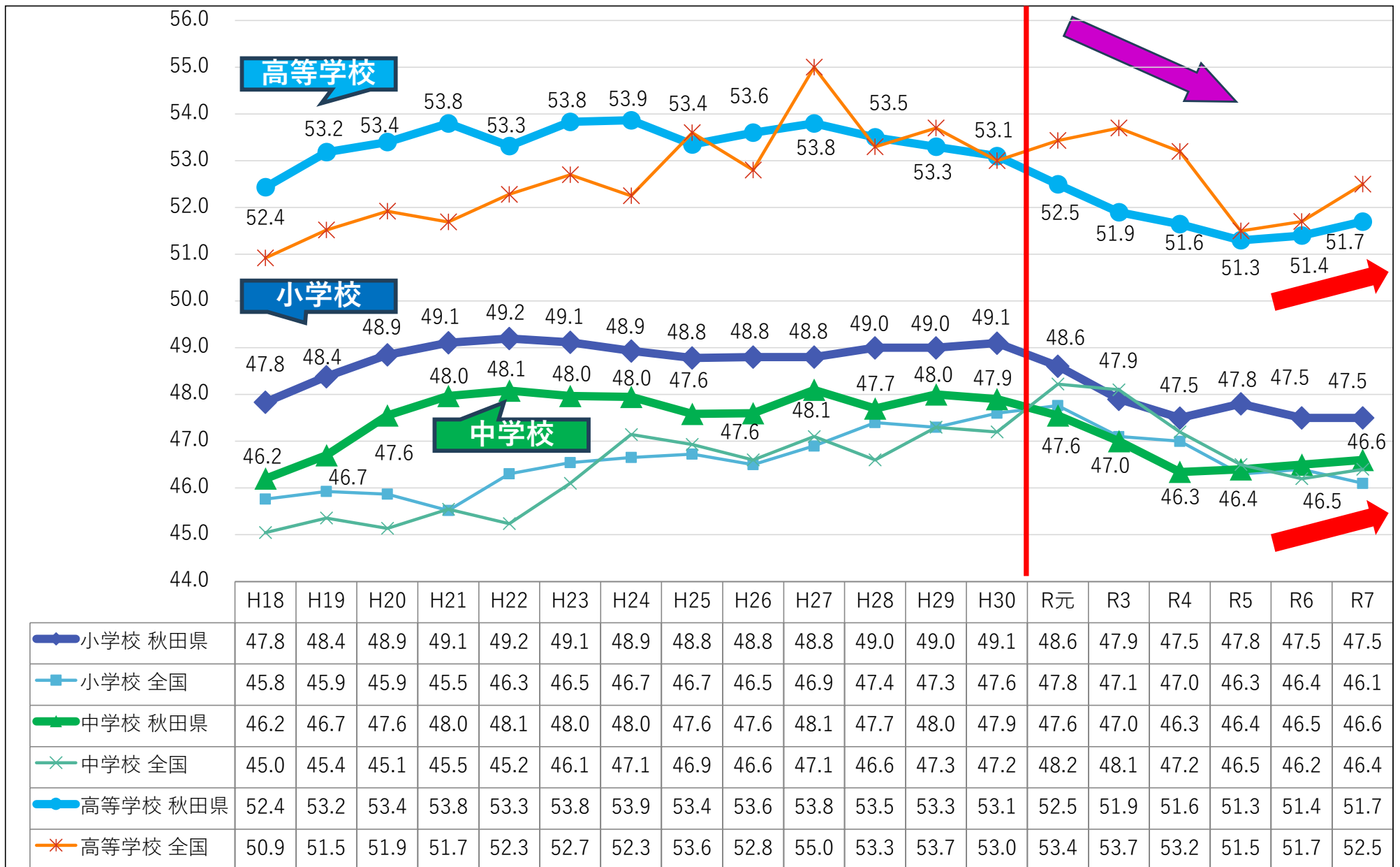
○児童生徒のライフスタイル調査（県教育委員会）

- ・ 抽出調査（小：4～6年、中・高校：全学年）

運動やスポーツが好きな児童生徒の割合と体力合計点との関連 (小・中学校平均、47都道府県)

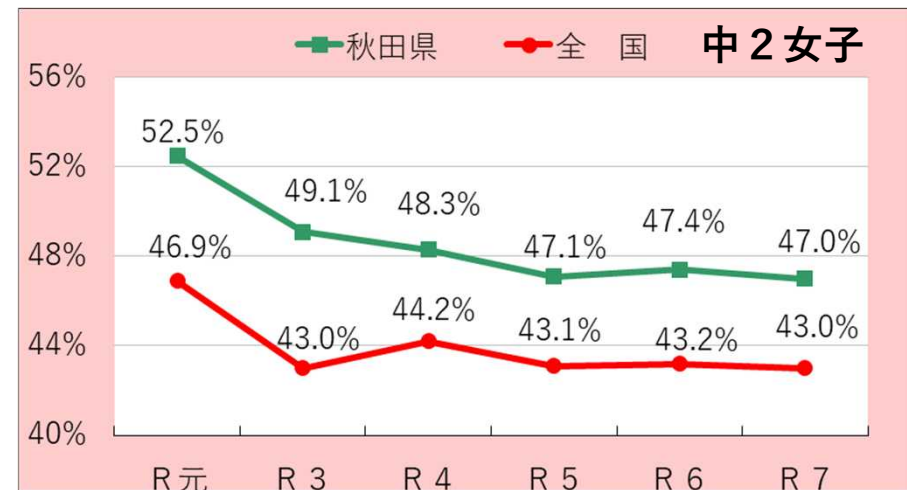
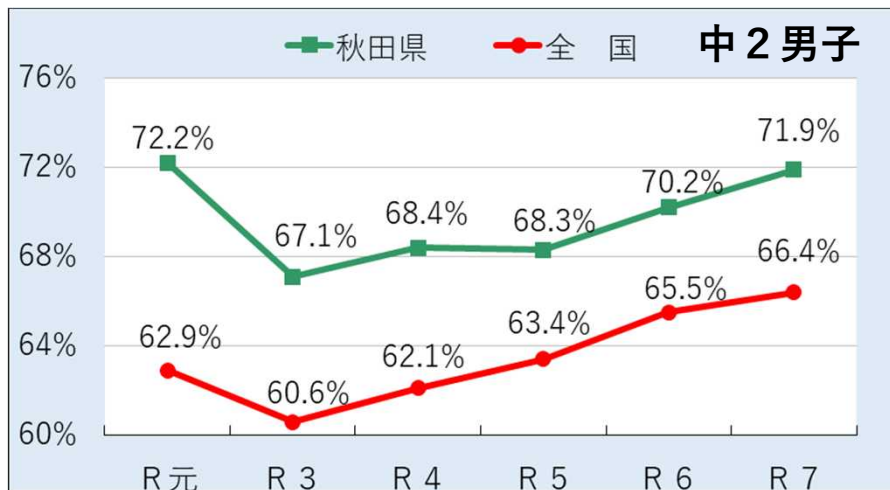
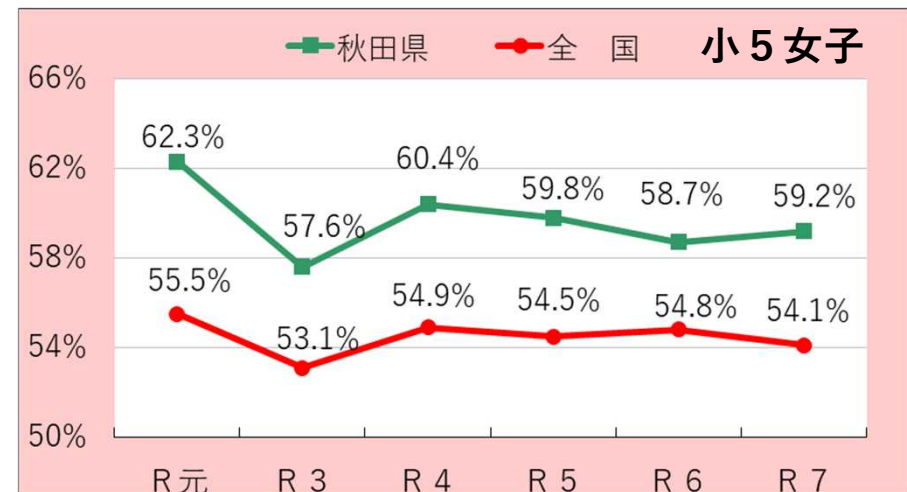
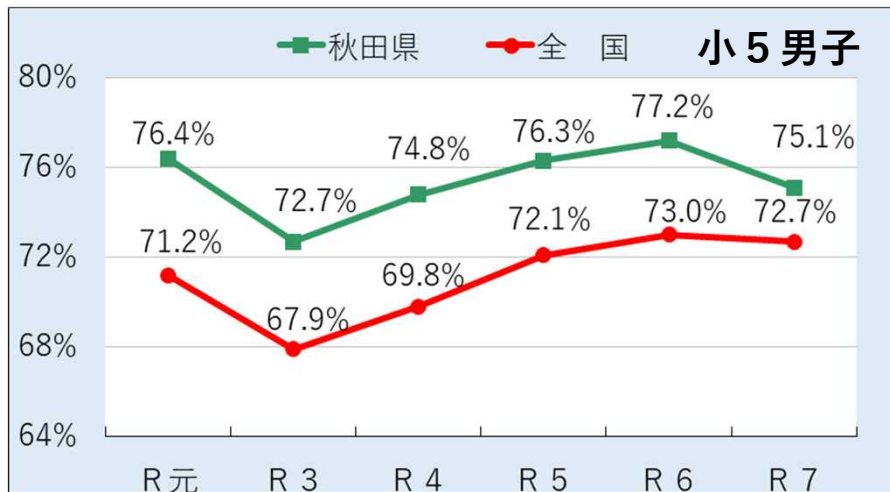


◆体力合計点の県平均の推移



◆運動に対する意識（全国平均との比較）

「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合
 （児童生徒質問紙調査より）

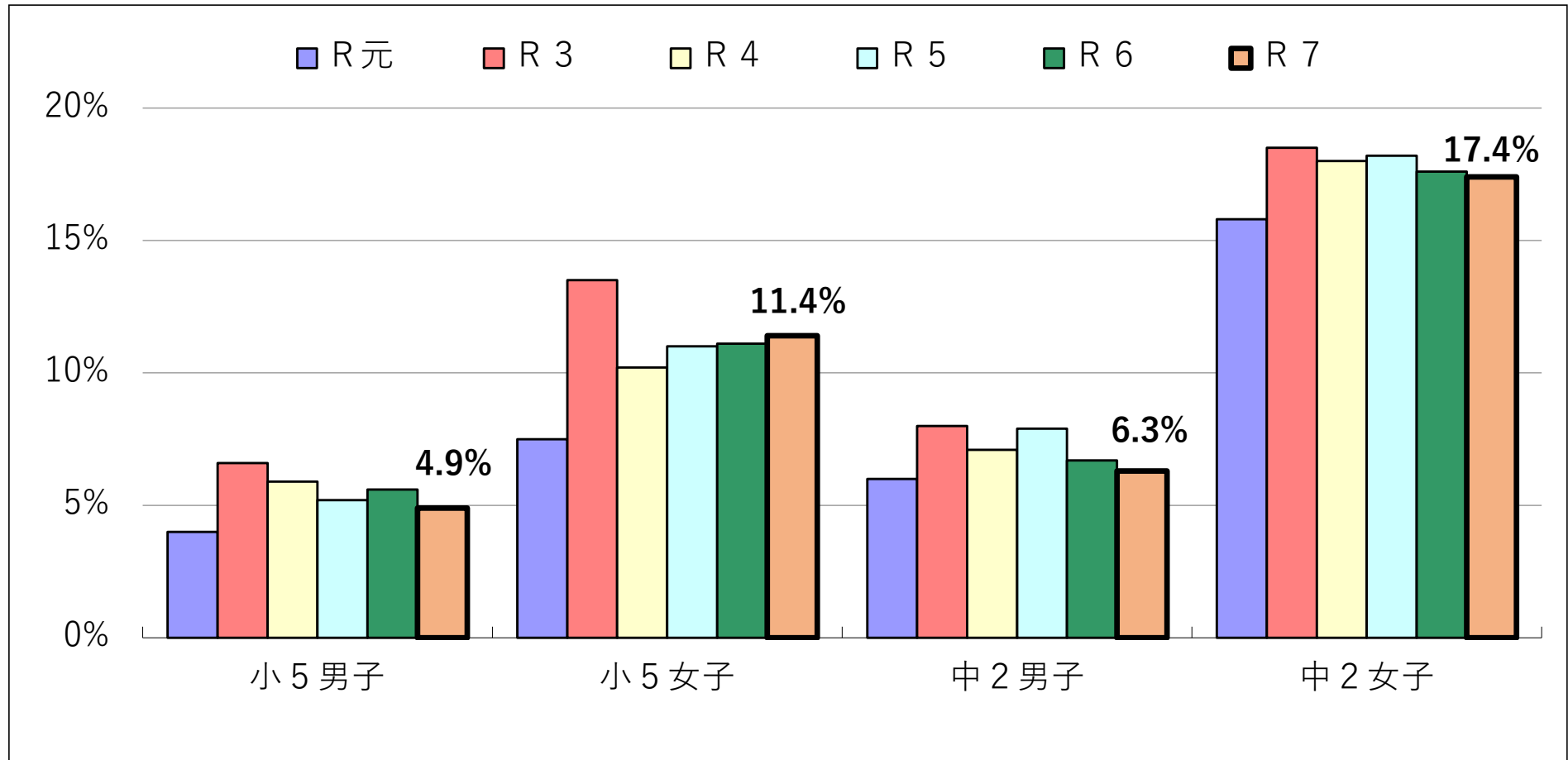


「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（スポーツ庁）

◆運動に対する意識（秋田県の推移）

運動やスポーツをすることが「嫌い・やや嫌い」と回答した児童生徒の割合

（児童生徒質問紙調査より）

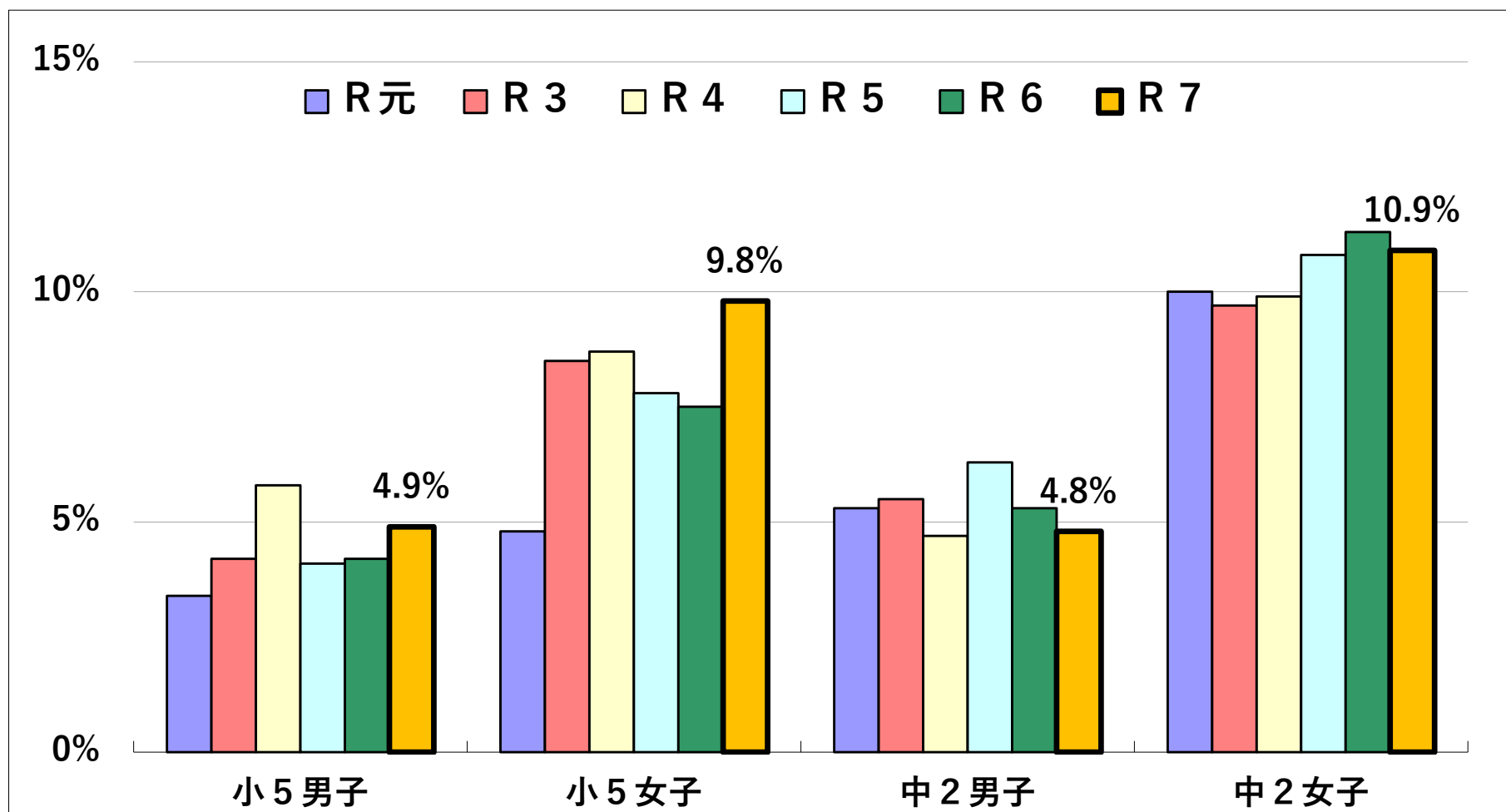


「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（スポーツ庁）

◆運動に対する意識（全国平均との比較）

体育の授業が「楽しくない・やや楽しくない」と回答した児童生徒の割合

（児童生徒質問紙調査より）



◆体育授業への意識と運動時間

クロス集計

「体育・保健体育の授業が楽しい」×1週間の総運動時間(分)

「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(スポーツ庁)

	小学校		中学校	
	5年男子	5年女子	2年男子	2年女子
楽しい	584	384	839	668
やや楽しい	364	241	645	459
あまり楽しくない	289	179	483	275
楽しくない	269	141	487	242
全国平均	522	315	744	510

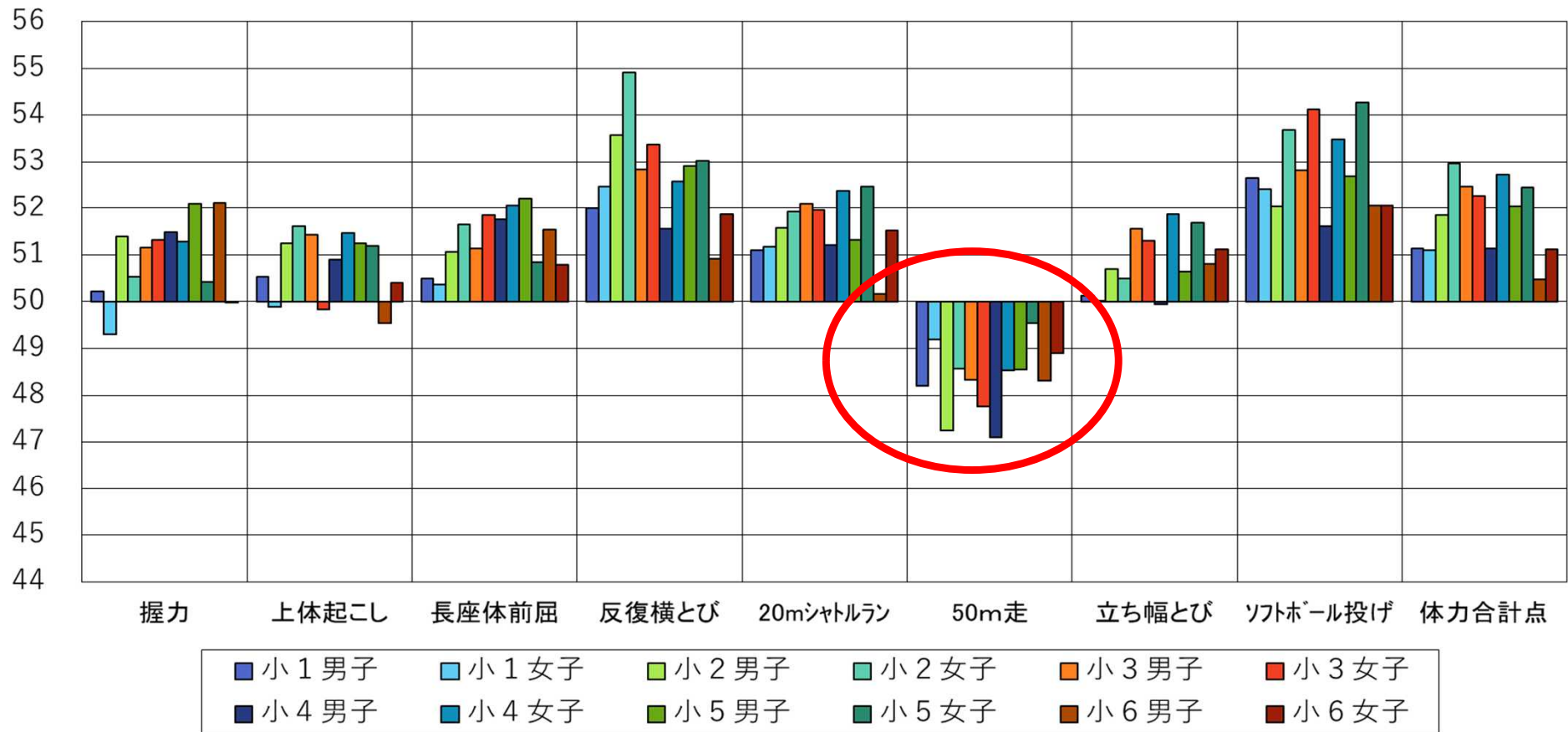
体育の授業が楽しいと感じている児童生徒は、運動時間が長い。

体育の授業が楽しくないと感じている児童生徒をどうしたら…

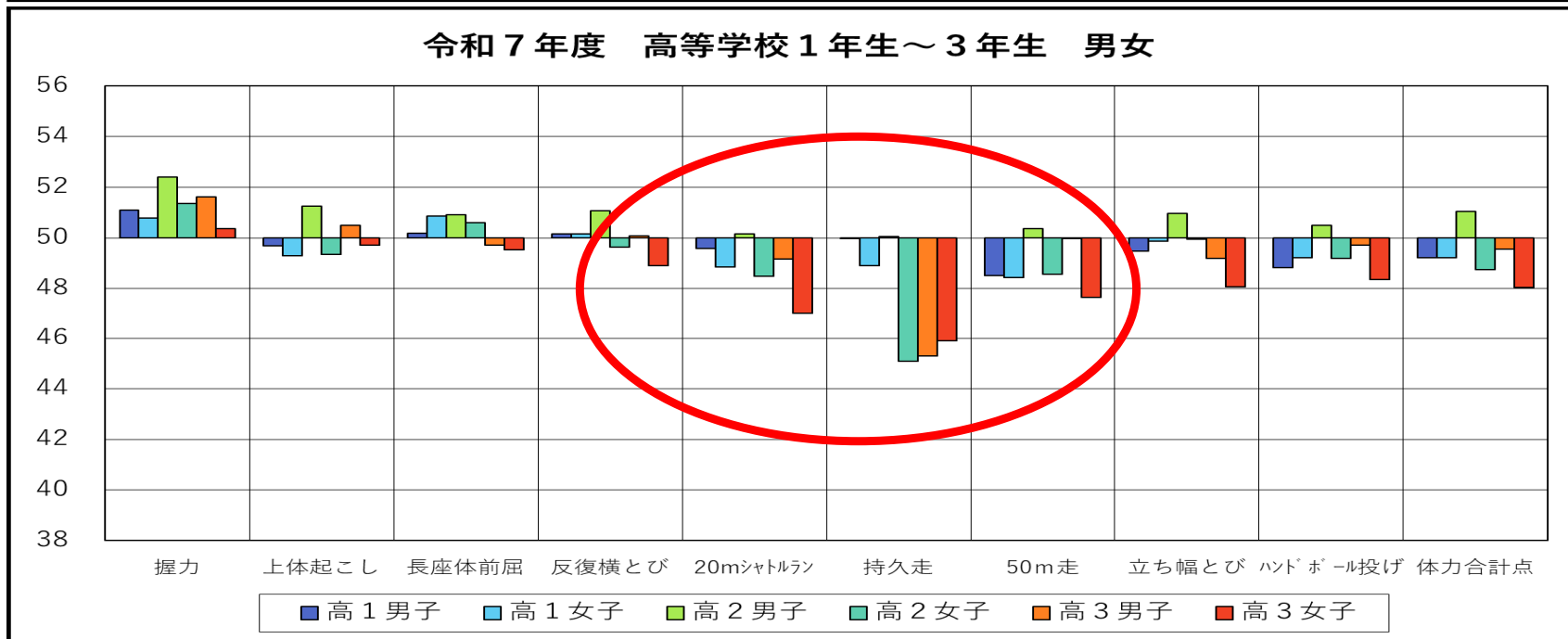
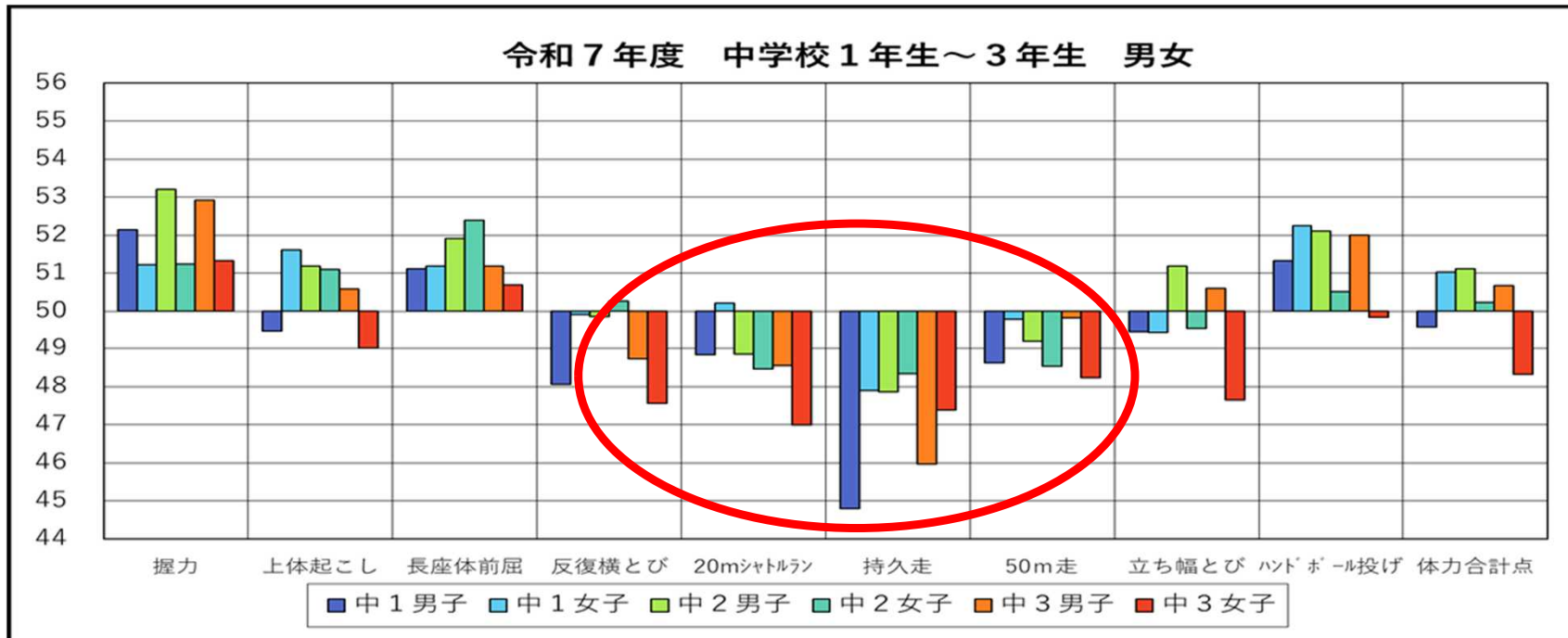


テスト項目ごとのT得点の比較

令和7年度 小学校1年生～6年生 男女



テスト項目ごとのT得点の比較



◆「体力の向上」及び「運動習慣の確立」に向けた提言

「秋田の学校体育・健康教育資料集 第68号」

提言

「楽しい!」「もっとやりたい!」を
主体的な運動実践につなげよう

～全ての児童生徒が運動の楽しさを実感できる工夫を～

「やりたい!」を引き出す
取組を充実させよう

「もっとやりたい!」を「実践」
につなげる取組を広げよう

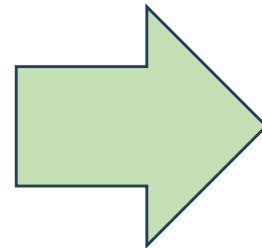
「走る」楽しさを味わわせる
取組を進めよう



■ 「やりたい！」を引き出す取組を充実させよう

スモールステップ

- ・ 発問や声掛けの工夫
- ・ 段階的なめあての設定
- ・ 学習環境の整備 など



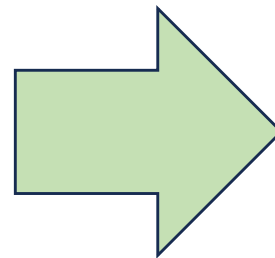
児童生徒が、小さな「分かった」「できた」という成功体験を積み重ね、運動の楽しさを味わいながら、次のステップに挑戦できるようにする。

小学校学習指導要領解説の「運動が苦手な児童への配慮の例」の活用を！

■ 「やりたい！」を引き出す取組を充実させよう

ICTによる可視化

- 動画の比較や分析
- 運動記録の見える化
- 客観的な自己分析 など



自分の姿や記録の推移を客観的に捉えることで、変容や成長を実感し、高い意欲を持って自己の課題解決に取り組めるようにする。

動きを動画・画像で確認したり、データをグラフ化して自己の伸びを確認したりして、客観的に自分を捉える！

■ 「やりたい！」を引き出す取組を充実させよう

運動環境づくり

- ・ 用具の活用
- ・ 多様な運動遊びの提示
- ・ 運動スペースの確保

など

運動に親しむことができる環境を整えることで、主体的に運動に取り組む習慣の形成へとつなげることができるようにする。

子どもが思わず体を動かしたくなるような仕掛けや、授業での学びを
実践することのできる運動環境の整備を！

学校での「体力の向上」の取組例

長崎県対馬市立豊玉小学校の実践

○思わず体を動かしたくなる環境

豊玉プレイパーク



- ・楽しみながら
- ・通りがかりに（子どもの動線）
体育学習と児童の遊びをつな
げる環境づくり

①ケンパコーナー



③ピョンピョンタッチ



⑥スラックライン



⑨あんたがたどこせジャンプ



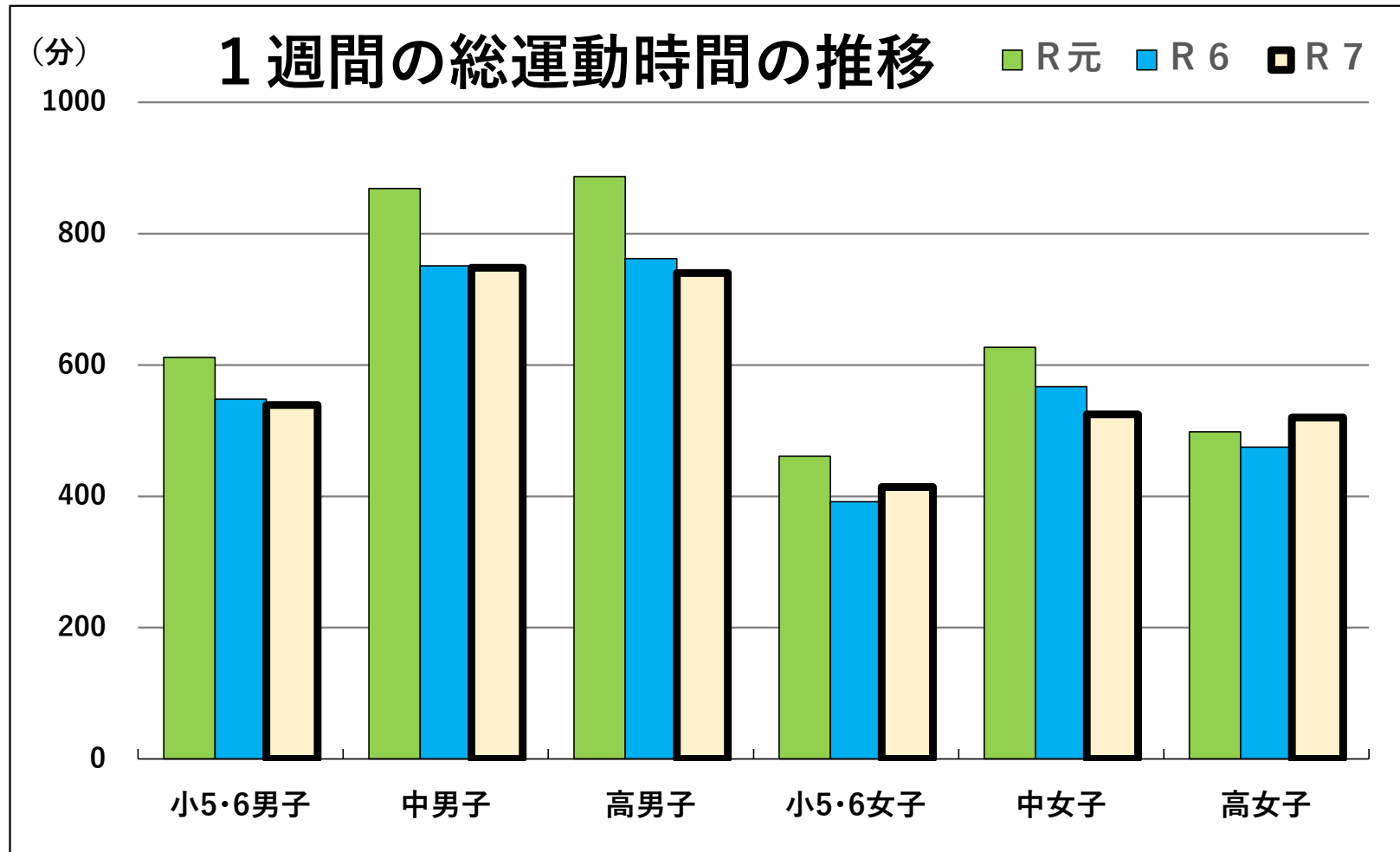
⑧飛び石タイヤ



⑩平均台



「もっとやりたい！」を「実践」につなげる取組を広げよう



「R7 児童生徒のライフスタイル調査」(秋田県教育委員会)より

コロナ禍の影響やスクリーンタイムの増加等もあり、1 週間の総運動時間は全体的に減少傾向

■ 「もっとやりたい！」を「実践」につなげる取組を広げよう

家庭や地域とつながる「**チーム学校**」の取組を進めていこう！

【家庭との連携】

- ・ 新体力テストの結果や目標を家庭と共有
- ・ 「新体力テスト分析シート」の活用
- ・ 運動のよさや効果の紹介
- ・ 気軽に取り組むことのできる動画の紹介
- ・ 学校での取組を積極的に発信

■ 「もっとやりたい！」を「実践」につなげる取組を広げよう

【地域との連携】

- ・ スポーツイベントと連携した取組の企画・実施（P T Aでの親子体験会、外部講師派遣による出前授業等）
- ・ 地域のスポーツ教室やサークル活動、運動施設の利用状況等の情報の収集・把握

家庭や地域を巻き込みながら、学校内外で**運動やスポーツに親しむことができる機会と場**をつくっていきましょう！

～令和7年度体力向上マネジメント指導者養成研修での講義より～

学校での取組に加えて…

運動 = スポーツ の意識を変える



運動 = 「今」の状態よりも負荷がかかっている状態
座る < 立つ < 歩く < 走る

体力の向上という視点から、日常の活動を見直す

例えば…

休み時間に立って（歩きながら）話す、意識的につま先立ちをする、掃除に全力で取り組む（机運び、雑巾がけ等）

日常生活を今よりもっとアクティブに！

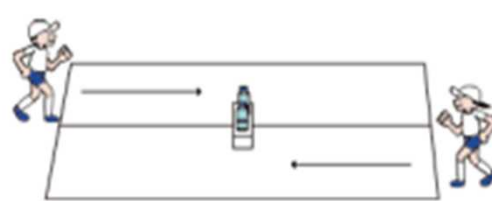
■ 『走る』 楽しさを味わわせる取組を進めよう

～子どもが『走る』楽しさを味わうことができる取組(例)～

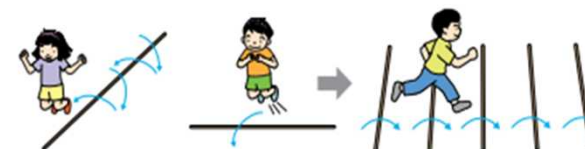
※いろいろな走り方



※ペットボトルタッチ



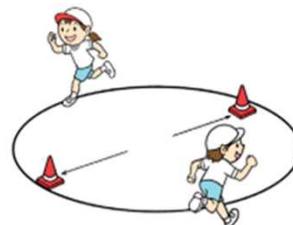
※ロープを並べて跳ぶ、走る



※腕組みダッシュ



※円場で競走



※マーカーにボールを置いていく



※スタート位置を自分で決める競走



※正しい動きつかむ



「アクティブチャイルドプログラム
運動遊びプログラムの紹介」
(日本スポーツ協会)より

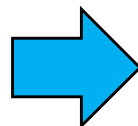
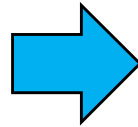
「小学校体育（運動領域）指導の手引」(スポーツ庁)より

■ 『走る』楽しさを味わわせる取組を進めよう

【50m走の記録測定について】

こんな子どもはいませんか？

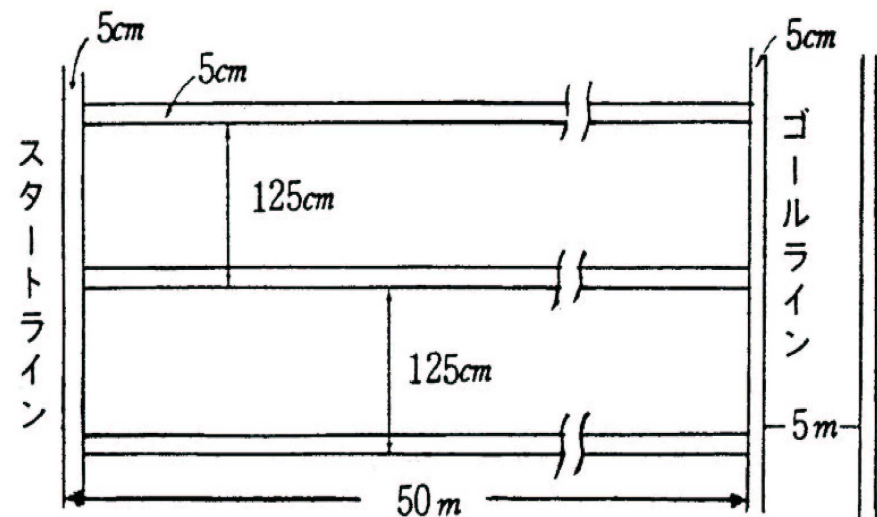
- ・冬期間、思いっきり走る経験をしていないため、春先は体が思うように動かせない子ども。
- ・50mのゴール手前で力を抜いたり、ゴールと同時に止まってしまったりする子ども。



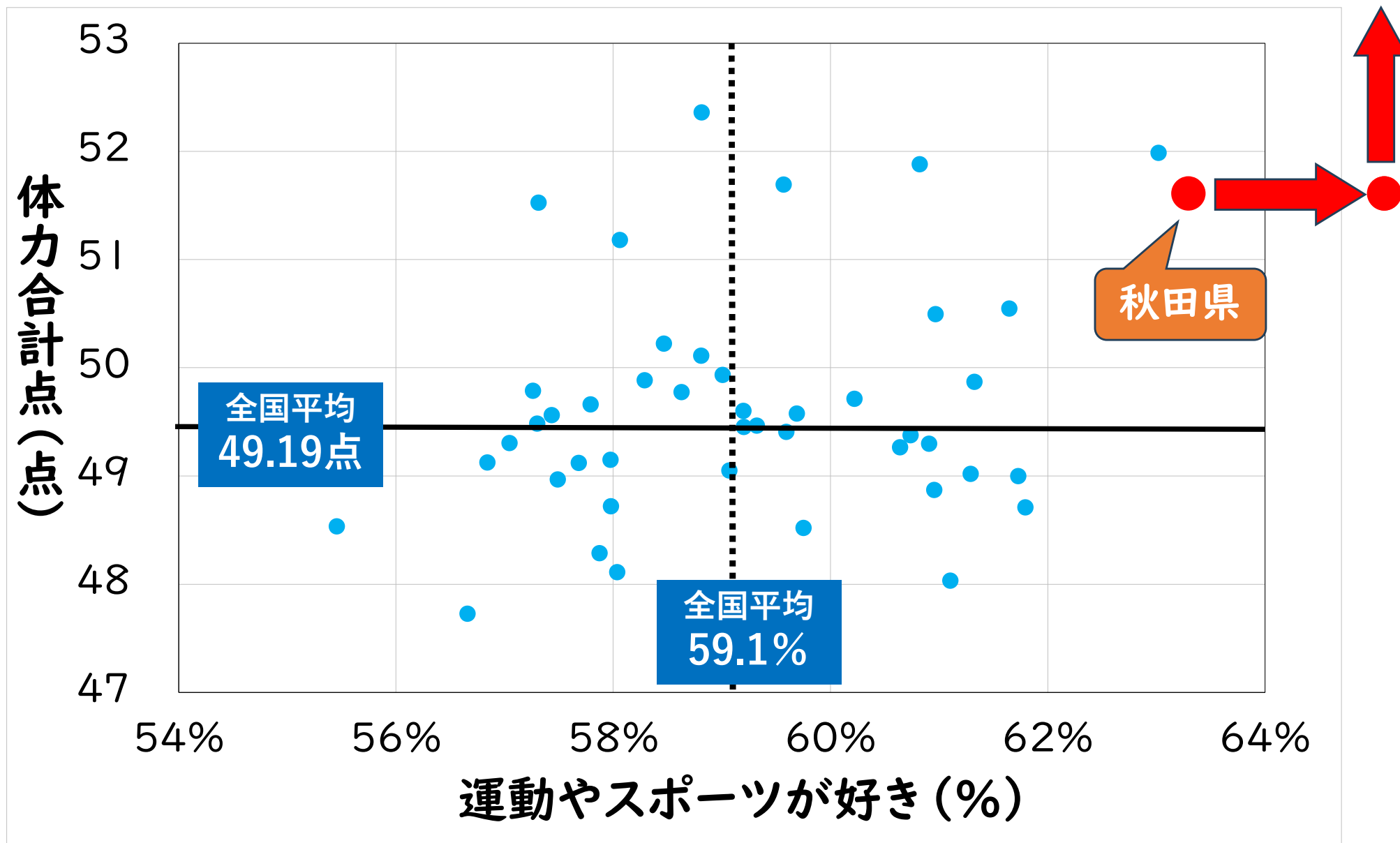
【共通実践取組事項】

- ・体育の授業や体育的活動などで、**走る経験**を十分にさせてから計測する。
- ・50m走の測定時期を、**6月以降**に設定する。
※熱中症等には十分注意して実施する。
- ・**ゴールの先5m**にもラインを引き、そこを**駆け抜ける**ようにする。
※新体力テスト実施要項参照

子どもが全力を出せる
ベストな条件での測定
をお願いします。



運動やスポーツが好きな児童生徒の割合と体力合計点との関連 (小・中学校平均、47都道府県)





御清聴ありがとうございました。



©2015秋田県んだッチ